

# 漁船の安全運航のために

～漁労中の揚網機等への巻き込まれ事故防止～



揚網機等への巻き込まれ事故が多く発生しています！

揚網機等（揚網機、揚錨機）への巻き込まれ事故で、過去5年間に、乗組員が死亡・負傷した事故が100件以上発生しています。巻き込まれ事故の約7割は漁網や錨などを揚げる作業中（揚収中）に発生し、約2割は海中に投入作業中（投入中）に発生しています。



## 単独で作業を行い負傷

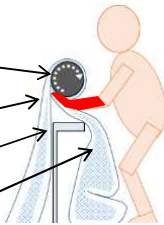
- × 他の人に気を遣い、一人で作業を行いました。

ローラ（回転中）

揚収中の網

ブルワーク

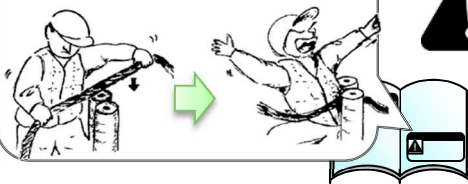
揚収した網



## ゴム手袋がからまって負傷

- × 慣れた作業だったので、ゴム手袋を着用していませんでした。

危険行為



## 揚網機等を正しく使用せず負傷

- × 取扱説明書の注意事項を読まず、間違った方法で使用しました。



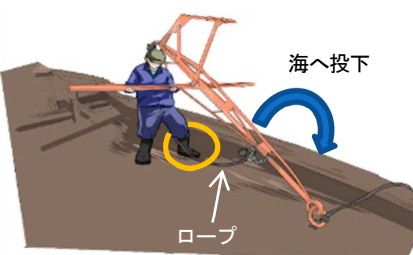
## 手元を見ず負傷

- × 漁の状況が気になり、手元から目を離しました。



## 思わず手が出て負傷

- × 網がローラから外れたので、思わず手を出してしまいました。



## ロープをまたいでしまい負傷



## 船が揺れバランスをくずして負傷



## 揚網機等の整備不良により負傷

※ 画像はイメージです。

## 揚収中の事故の防止対策

### ～巻き込まれ事故の特徴～

多くの事故は、漁網等の整理作業に集中している状況で、回転中の揚網機等に接近、もしくは手を近づけたことにより発生しています。報告書の防止策では、作業者の意識及び行動により防止することができる対策が大半です。

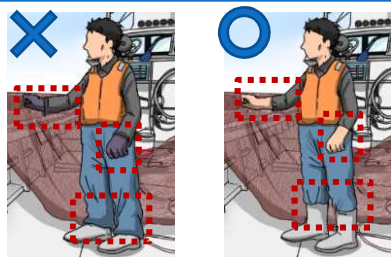
今立っている場所・今行っている作業の安全を確認することが大事です。

船長や漁労長は次のことを指導し、乗組員全員が徹底しましょう。



### 作業体制について

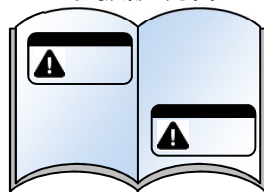
- ・すぐにローラを停止できるよう、複数人で作業しましょう。
- ・ローラに触れる場合は、必ずローラを停止させて作業しましょう。
- ・お互いに声を掛け合って作業しましょう。



### 服装について

- ・裾や袖口をしっかり押さえましょう。
- ・網の固定を行う際は、手袋を外しましょう。

### 取扱説明書



### 揚網機等の使用方法について

- ・取扱説明書のとおり正しく使いましょう。

## 予期せずとつさに手を伸ばしたときの事故を防止するために

- ・網やロープの逆巻きの未然防止に努めましょう。
- ・ローラの緊急停止装置や網の固定専用機器を導入するなど、安全性向上に努めましょう。

ケガをせず漁から戻って来ることを  
ご家族は待っています。  
～ 安全第一に！ ～



運輸安全委員会事務局

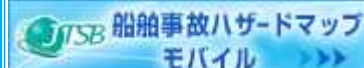
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2 号館

TEL : 03(5253)8823 e-mail : hqt-jtsb\_analysis@ml.mlit.go.jp



～地図から探せる事故と  
リスクと安全情報～

<https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>



<https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/mobile/index.html>